**セルゲ・ツィンマーマン　Serge Zimmermann, Violin**（354字）

1991年ケルンで音楽一家のもとに生まれる。9歳でモーツァルトのヴァイオリン協奏曲を弾いてデビュー。チェコ・フィル、ヘルシンキ・フィル、バルセロナ響、ピッツバーグ響、N響などと共演を重ねている。Aシフに彼の創設したイッティンガー聖霊降臨祭音楽祭に招かれ、シフの指揮するフィルハーモニア管とロンドンで共演した際には「美しく変化にとんだ音色と強烈なテクニックを備える。今後まちがいなく世界に羽ばたいていくだろう」（ガーディアン紙）と絶賛された。2010年のキッシンゲンの夏音楽祭では、急遽カヴァコスの代役でブロムシュテット指揮バンベルク響とメンデルスゾーンの協奏曲を共演。室内楽でもピアニストのパーチェとともにアムステルダムのコンセルトヘボウや、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭などの著名なフェスティバルに出演している。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（約360字）